

質問

／その3

同和対策の終結を 一日も早く



佐々木 求 議員

同和減免の終結を

佐々木 固定資産税の同和減免は、前町長の時、要綱が改正され、改正時期三年後で来春が予定されている。西部町村会は五年間で解消する方向を打出しているが、なぜ五年間なのか。

法的根拠がなくなり、税の公平性からも、一日も早い解決を図るべきだ。

町長 昨年十二月から西部町村会で協議し、今後五年間で制度を廃止する方向となった。それは本年から平成二十三年度までを考えている。

各町の要綱と内容は同一だが、期限を定めたところ、定めないとすると、差がある実態です。税負担の激変緩和を考慮するとして定めた。

本年四月から実施している町もあるが、今後、地元協議が進められる段階だ。

町は自治会で説明会を開催し方針を説明したが、参加者が少なかったため、全体の総意を量りかね、自治会長の思いを持ち帰りとした。

自治会内で話し合いを進め、改めて町との協議に臨

みたいとの意向です。

町は財政再建を進めているところでもあり、また、西部町村会の総意などを踏まえ今後も協議していきたい。

佐々木 平成十三年に法的根拠がなくなり、地区も対象住民も法的にはなくな

った。
二、三年で激変緩和をやるとするのが一般的であり、五、六年も過ぎて今だにこういう状態だ。

一日も早く移行すべきだ。
住民課長 西部町村会の合意で年次的に平成二十三年に向け、四分の一ずつ削減していくというものです。

放置できない災害援護 資金滞納

佐々木 滞納金は収納率が住宅新築資金で四六・八六割、災害援護資金で、七三・八九割で、このまま放置しておけば経済情勢等から滞納が膨らんでくる可能性がある。

徴税等特別徴収チームの教訓を活かし、月々の返済に徹底的にこだわっていく必要がある。

町長 この問題は、町の財



平成12年の地震で住宅に大被害

政状況を厳しくするかどうか、非常に大切な問題、重要な問題と認識している。
町財政は極端なことを言う和一円からお金を大切に処理しなければいけない状況です。

特別徴収チームは個々の皆さんの状況を聞きながら、ゆるみなくその作業をこれからも続けていきたい。

預金とか保険等の有価証券、そういう調査も進めて、状況に応じては、動産や給与の差し押さえも辞せず、厳正なる処置をとっていかないと公正さを欠くと思っている。

案は何度も話し合い、工事に着手するというのも初めて知りました。

今こうして当たり前のように山間部で携帯を使うことが出来るのも、「議会」という場で提案されるからだとか、もっと多くの人が議会に興味を持って傍聴にも積極的に参加し、今の行政はどうなっているのかというのを自分の目で確認しなければいけないと思いました。

病院事業調査特別委員会

九月二十六日、病院事業調査特別委員会を開催し、平成十八年度日野病院組合事業会計決算について説明を受けました。

収益的収支(病院事業会計・在宅介護支援事業会計・診療所事業会計)は、七千七百三十三万五千円の赤字となっていますが、単年度資金収支は三千二百九十六万六千円の赤字です。

一方、介護老人保健施設「あやめ」は平成十八年六月からの業務開始で、四千九百五十四万二千円の赤字となっています。